

(様式第4号)

上田市行財政改革推進委員会 会議概要

1	審議会名	上田市行財政改革推進委員会(第11回)
2	日 時	平成19年11月20日(火) 午後2時から午後3時15分まで
3	会 場	上田市役所 丸子地域自治センター 3階 第1会議室
4	出席者	小池会長、宮沢副会長、鬼頭委員、斉藤委員、高橋委員、田口委員、武井委員、西沢委員、花岡委員、三井委員、米津委員 【欠席】久保木委員、小宮山委員、土屋委員、森田委員
5	市側出席者	金子行政改革推進室長、宮沢室長補佐、平田主任
6	公開・非公開等の別	公開
7	傍聴者	0人 記者 1人
8	会議概要作成年月日	平成19年11月26日

協 議 事 項 等

1 開 会(金子室長)

2 あいさつ(小池会長)

3 協議事項

(1) 議題の概要

ア 前回の会議録について

イ 答申書の検討について

ウ 次回の予定について

(2) 審議概要

ア 前回の会議録について

(事務局) 内容を確認していただき、誤字・脱字、修正等あれば、事務局まで連絡いただきたい。
修正後、ホームページで公開したい。

イ 答申書の検討について

(会 長) 事務局から、今回の答申案について、構成を含めて説明願いたい。

(事務局) 前回までの9施設の見直し調書をもとに、今回は、施設経営に当たっての課題及び解決方法について、各施設に共通する項目が多いことから、別のシートで「課題及び解決方法」としてまとめさせていただいた。

また、前回の会議で出された意見をもとに、若干表現方法等を変更しているのもので、変更箇所について説明させていただきたい。

日帰り温泉施設については、施設の必要性が薄れているという表現を、様々な角度から検討すべき時期にきているという表現に訂正した。

また、成果が現れない場合...という表現に具体性を持たせるため、一般財源の投入額の圧縮という文言を追加した。

当面の施設の方向性については、3施設だけでなく、現在建設中の相染閣の動向を踏まえた形で併記させていただいている。

次に温泉宿泊施設については、施設のあるべき姿において、表現が重複する部分を削除し、日帰り温泉施設と同様に、経営改善の成果についても記述を行った。

その他の施設については、バイオセンターの研究部門について、業務委託という具体的な手法を記載させていただいている。

アクアプラザについては、経営改善の成果について、一般財源投入額の圧縮という具他の文言を取り入れた。

番所ヶ原スキー場については、表現が複雑であったため整理し、練馬区の施設との兼ね合いについて記載し、また、経営改善の成果を具体化した。

至急取り組むべき経営改善策としては、番所ヶ原スキー場について、新たに「子ども料金の設定」について記載させていただいた。

先ほどお話しした課題及び解決方法のシートでは、一般の民間事業者を指定管理者にした場合と、民営化した場合の2つに分けて、それぞれ課題と解決方法を記載した。

その他留意事項として、民営化時には、国庫補助金等の返還の有無について確認が必要であることと、住民の意見を取り入れるため、地域協議会での意見聴取について加筆させていただいた。

(会長) ありがとうございます。内容については、事務局ら説明があったとおりです。

委員の皆様で、この部分はこう表現したほうが良いというような意見があればお出しいただきたい。

(委員) ふれあいさなだ館の利用料金について、見直し後の例として温泉のみ利用で400円、プールのみ利用で300円、合計700円となっているが、こうした場合、プールの料金について、現在の400円から安くなってしまう。現在赤字の施設にも関わらず、見直し後に値下げになってしまうのは行財政改革上まずくないか。

(会長) 審議会としても、値下げはふさわしくないと思うので、最低でも現行の金額になるよう調整したい。

(委員) 方向性は出ているが、いつから実施するのかという表現がどこにも記載されていないため、開始時期についても記載したほうが良いと思う。

(委員) 開始時期を明らかにするため、調書中「至急取り組むべき経営改善策」という項目名を「平成20年度から取り組むべき事項」という表現に改めてみてはどうか。

(委員) 了承。

(委員) 日帰り温泉施設について、「市が保有する必要性が薄れている」という表現がなくなり、「様々な角度から検討すべき時期にきている」となっており、全体的にトーンダウンしているように思う。他にも表現方法が変更されたことにより、全体の意味合いがぼやけてしまっているように感じる。

また、相染閣という新しい単語が登場しているが、載せる必要があるのか。

(会長) 前回の会議の後、委員各位から寄せられた意見書の中に、経営状況が悪いからすぐに民営化するというのは乱暴すぎるというものがあったため、委員各位の意見を尊重する意味から、「民営化も含めて施設の運営形態の再検討」という表現を用いた。

相染閣についても日帰り温泉施設であるため、事務局と理事者との話の中で、整合を図るべきであるとの話があったため、急遽記載させていただいた。

(委員) 前回に比べて表現がマイルドになりすぎている。経費の圧縮というと、10%削減でも圧縮と取られてしまう恐れがある。

(会長) 方針の中にも、指定管理者が明確な数値目標を設定すると記載しているとおり、経営改善に必要な数値目標はおのずと決まってくると思う。表現は易しいかも知れないが、中身は今までと変わっていない。

(委員) 今の意見について、私も当初は直接的に民営化を考えたが、審議会に参加して様々な話を聞いていく中で、施設の設置経緯などが分かってくると、単純に民営化すれば済む話ではないことが分かった。個々の施設が異なる問題等を抱えている中で、審議会できもしない答申を行っても仕方がないと感じている。

- (委員) 経営者の経験を活かして言わせてもらおうと、先程からのやり取りは、ただの言葉遊びにしか感じられない。「やるぞ!」という気持ちが大事であるので、言葉尻を捉えて議論を行うよりは、答申後の進捗管理などを徹底して行えばよいのではないかと思う。まずは実行することが大事であると考えている。
- (会長) 現在、市では6月に答申した民間活力導入指針をもとに、7月から事業仕分け、補助金の見直しに取り組んでいる。我々審議会委員としても、今後の進捗を見守っていく責務があると思う。また、集中改革プランの進捗管理についても、今後実施していかなければならない。委員各位においてもご承知おき願いたい。
- (会長) それでは、次に答申書の表紙についてご意見をいただきたい。事務局から概要の説明をお願いしたい。
- (事務局) 答申書の表紙については、今回の施設経営の見直しに当って留意した項目を列挙するとともに、指定管理者である外郭団体の統廃合を進める必要性について言及した内容となっている。また、裏面には、見直し対象施設の一覧、上田市行財政改革推進委員会の委員名簿、審議会の開催経過を記載している。
- (委員) 答申は、委員全員出席して行うのか。
- (事務局) 事務局案としては、全員出席して答申いただきたいと考えている。
- (委員) 「市の外郭団体について、市が責任を持って統廃合を進める…」という表現について、具体的に外郭団体の名称を記載したほうが、より具体的になって良いと思う。
- (会長) 事務局で、表現方法を改めていただきたい。
- (事務局) 具体的な固有名詞を表記します。
- (委員) 仮に施設を民営化したとして、受け手となる民間事業者はいると思うか。
- (委員) 十分にいると思う。
- (委員) 民営化することにより、民間事業者が施設経営のリスクを負うことになるが、それに対して、市から一定期間補助を行うというようなことは記載できないか。
- (委員) 一定の補助等を行うことは適当ではないと思う。補助を行えば、真の意味での民営化は行われない。そのために、答申に、指定管理者は民営化を視野に入れ、指定管理者制度を行う中で経営改善を図っていくと記載されている。
- (委員) 施設経営の見直しの話とは違うが、上田市行財政改革大綱及び集中改革プラン、民間活力導入指針を策定し、現在、それぞれ進められていると思うが、行財政改革推進委員会として進捗管理など行わないのか。
- (事務局) 現在、各担当課で鋭意取り組みを行っているが、進捗については、年度末に調査を行い、その進捗状況を審議会に報告し、場合によっては、この審議会において担当課のヒアリング等を行ってまいりたい。

ウ 次回以降の日程について

- 【次回】 日時 平成19年12月21日(金) 午後4時から午後5時まで
場所 上田市役所 本庁舎 3階 第1応接室
1ヶ月の間が開くため、改めて後日出欠の確認を取る予定。

- * 会議概要は原則として公開します。会議終了後、1週間以内に行政改革推進室へ提出してください。
* 非公開及び一部非公開としたものについては、その理由を記載してください。